

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月03日(水)

事務事業		空き家対策事業		担当課	自治振興課	担当係	空家対策係	管理番号	11211	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	空家等対策の推進に関する特別措置法（空家法） 空家等対策計画（第2次）					
	小項目	3	防犯・空き家対策の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		近年、人口減少や少子高齢化進展などの様々な要因により、空き家が年々増加しており、大きな社会問題となっている。空き家が適正管理されずに放置されると、防犯、衛生など、地域住民の生活に大きな影響を及ぼすだけでなく、地域活力の低下にもつながりかねない。空き家対策は所有者個人の問題だけでなく、地域あるいは市全体の問題として考えていく必要があるため、本市の空き家対策を総合的かつ計画的に推進していく。								
目的 ※何のために		空き家対策に取り組むことで、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。								
対象 ※誰・何を対象に		空き家の所有者・管理者等								
手段 ※どのように		市内の空き家の実態を把握したうえで、空き家の所有者等に適正管理を促し、空き家の解消に取り組むとともに、さまざまな相談に的確に対応できる相談体制を整備する。また、除却や改修補助金交付により、直接的に空き家の解消に取り組む。								
成果 ※何を求めるか		空き家の適正管理を促進する。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	8	地域振興費	空き家対策事業	12,546,397
本事業の主な業務		・ 空き家所有者等への適正管理依頼文書の通知					・ 空き家に関する相談、苦情への対応			
		・ 深谷市自治会連合会との協働による空き家の見守り					・ 庁内関係部署との連携			
		・ 空き家除却・改修補助金の交付					・ 財産管理制度を活用した空き家対策の実施			
		・ 特定空家等の認定・指導等及び行政代執行の実施					・			
		・ 関係部課長を構成員とする「空家等対策会議」の開催					・			
		・ 外部有識者を構成員とする「深谷市空家等対策審議会」の開催					・			

2. 事業費（投入コスト）

※令和7年度は決算見込み額です。

単位：円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・ 空き家除却等補助金 ・ 特定空家等の行政代執行	・ 空き家除却等補助金 ・ 緊急措置	・ 空き家除却補助金 ・ 空き家改修補助金 ・ 緊急措置 ・ 財産管理制度	・ 空き家除却補助金 ・ 空き家改修補助金 ・ 緊急措置 ・ 財産管理制度	
事業費	予算（現額）	5,655,000	13,011,000	7,919,000	13,570,000	16,787,000
	決算額	4,632,399	11,718,678	7,124,320	12,546,397	0
	財源内訳	国支出金	0	3,046,000	700,000	2,716,000
		県支出金	0	0	0	4,000,000
		地方債	0	0	0	0
		他特定財源	0	49,500	7,902,849	8,844,000
	一般財源	4,632,399	8,672,678	6,374,820	1,927,548	3,943,000
人件費	従事職員数（人）	2.85	4.80	4.80	3.95	4.95
	人件費相当試算※	22,428,238	38,448,792	39,466,757	33,484,522	43,602,021
総事業費試算		27,060,637	50,167,470	46,591,077	46,030,919	60,389,021

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	空き家軒数	目標値	件							
		実績値		1, 556. 00	1, 625. 00	1, 658. 00	1, 784. 00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。/自治会調べ実数値							
	実績値の算出式									
活動指標 2	適正管理を依頼した空き家の軒数	目標値	件							
		実績値		1, 205. 00	1, 181. 00	1, 093. 00	1, 298. 00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。 / 実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 3	空き家相談件数	目標値	件							
		実績値		208. 00	196. 00	208. 00	233. 00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。 / 実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	空き家のうち「危険」「やや危険」の割合	目標値	%							
		実績値		15. 00	13. 30	12. 50	11. 94			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。 / 危険やや危険空き家／空き家総数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	空き家解消率	目標値	%	12. 30	12. 30	12. 30	12. 30			
		実績値		9. 29	11. 40	12. 90	10. 07			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成 2 8 年度の実績値 / 本年度解消軒数／前年度空家軒数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	空き家の解消軒数（解体等＋入居）	目標値	件							
		実績値		161. 00	177. 00	210. 00	167. 00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。 / 実態調査による							
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市自治会連合会との協働による空き家の実態調査により、1, 784件の空き家を把握し、空き家の所有者等に適正管理を促す通知や啓発チラシなどを送付することが出来た。また、埼玉司法書士会や不動産団体との協働による「総合相談会」では、前年度を上回る相談を受けることが出来た。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	空き家の解消件数が減少し、結果として解消率も下がった。しかしながら、危険な空き家などの件数は、除却補助金などの効果により、減少傾向を維持している。
			評価者 空家対策係長 吉岡 俊和

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	地域の見守り活動を実施している自治会との協働による空き家の実態調査を、平成26年度から毎年実施するとともに、調査結果をデータベースで登録・管理し、事務の効率化を図っている。また、相談業務についても、埼玉司法書士会や不動産団体に加え、民間事業者とも協力しながら、コストを抑えつつ様々な相談・要望に対応できる体制を構築出来ている。
			評価者 空家対策係長 吉岡 俊和